



シンフォニア通信 第36号



東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホーム シンフォニア

～ごあいさつ～

今年の冬は大雪に見舞われた地域も多く、厳しい寒さによる被害も報道されていましたが、春を告げる桜の開花は桜前線の北上の話題よりも早い速度で関東地方を満開にしていまいしました。

利用者の皆様も4月の2、3、4、5の4日間に分かれて市内の桜見物に出かけました。

毎年見る景観ではありますが、皆さんの笑顔を見ていると桜の花見は日本人にとって欠かせない風習であると感じたところです。

また、この時期は別れと出会いの時期でもあります。先日は今年ひよこハウス豊田を卒園する子供たちがお別れに来てくれました。

年間を通じて当施設を訪問し、踊りや歌で楽しませてくれた園児たちは、利用者にとっては孫やひ孫のような存在でしたし、これまで成長を見守ってきた皆様にとっては胸に詰まるものがあつたのではないかと思います。

涙のお別れでした。引き続き今年もまた新たな園児達との交流を楽しみにしていきたいと思います。

さて、当施設も4年目の節目を迎えました。

今、国においては介護保険制度の改革が進められ、施設運営面や個人の負担額などに大きな影響が生じることが危惧されておりますが、施設運営におきましては利用者にとって生活が更に充実し、また納得していただける介護を目指していきたいと考えています。

先日、当施設の27年度の事業や予算を理事会、評議委員会で審議いただきました。この中では新たに①1階のデッキ部分をリハビリ用の専用スペースとして活用する。②利用者の生活の活性化を図るため日々行っている午後のおやつの時間を利用した全員でのレクリエーションに加え、午前にも小集団によるレクリエーションを実施する。③同一敷地内に保育園など複合的に施設が設置されているという特性を活かし、子どもからお年寄りまでが多様な世代間交流を図る。などの事業と26年度に実施した第三者評価の結果を踏まえた取り組みについて承認いただきました。

いつもご家族の皆様には日頃の施設運営に、ご理解とご協力を賜っておりますが、27年度が利用者の皆様にとって豊かで潤いのある1年となりますよう、職員あげてこれを実践していきたいと考えております。更なるご支援をお願い申し上げ、年度当初のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 大家族

施設長 樫村正男

～イベント紹介～



4月2日より約一週間
『お花見ツアー』

桜が満開となり、今年もお花見ツアーが開催されました。

数名のグループで施設の車に乗り、日野市内の桜がきれいな場所を巡りました。

天候は晴れている日や、曇っている日もありましたが、満開の桜に皆様とても喜んでいました。

3月15日『うたごえ喫茶』

アコーディオン、ギター、ハーモニカ、タンバリンの伴奏に合わせて、皆様をご存知の名曲を歌っています。

利用者様もタンバリンで参加される方、得意な歌で楽しめる方、聞くのが好きな方など様々なかたちでうたごえ喫茶を楽しんでいます♪



4月6日（月）
『コーラス』



いつも月曜の14時半～は、斉藤由恵先生による音楽療法の時間ですが、この日はシンフォニアに初めて、グループ『あんだんて』が来ました。

『あんだんて』のみなさんの素敵なコーラスが披露されました。コーラスは力強くもやわらかく、心地よい歌声で利用者様も真剣に聞き入っていました。

